2027年3月期　中間期

決算説明資料

株式会社 ヤマックス

2026年11月12日

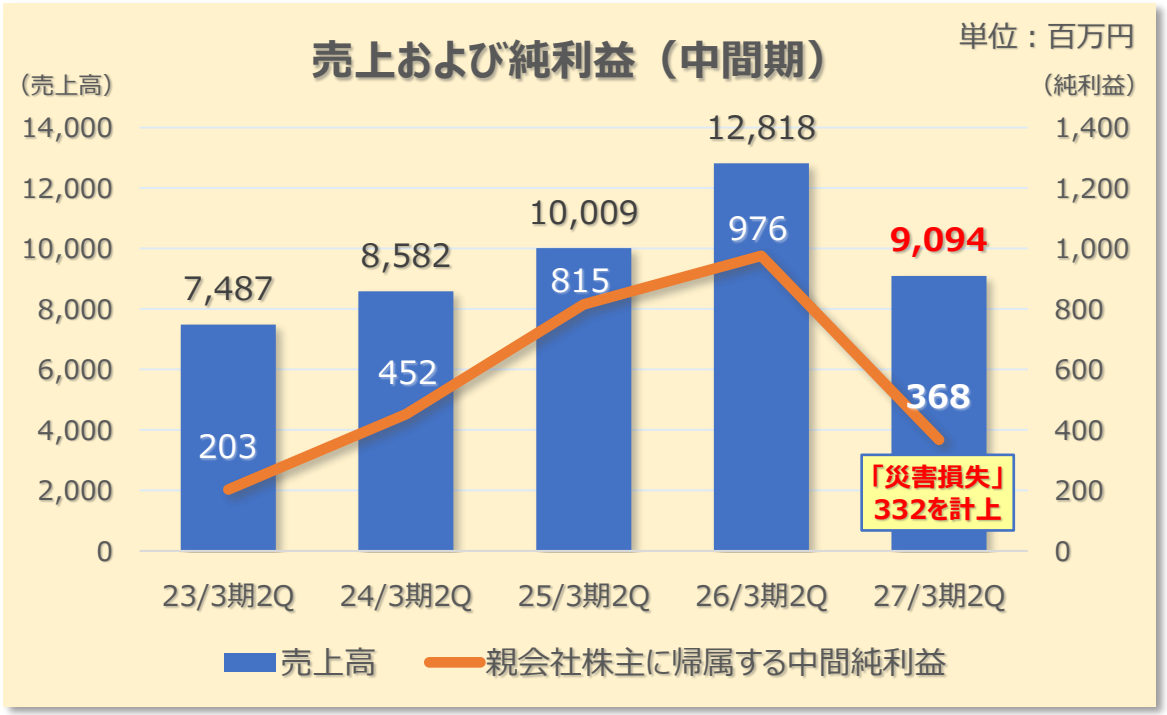
↑↑↑↑↑
ホームページ
はこちらから

ご注意：本資料に含まれる業績予想等につきましては、作成時点における情報を基に作成したものであり、今後の経済動向や市場環境により変動する可能性がございます。

業績ハイライト（2027年3月期　中間期）

※熊本地震に伴う「特別損失」も影響

連結中間決算	当期実績	前期実績	前期比
売上高	90億9千4百万円	128億1千8百万円	29.1%減
親会社株主に帰属する中間純利益	3億6千8百万円	9億7千6百万円	62.3%減



■土木用セメント製品事業

熊本地震の影響や大型物件の反動減で売上・利益ともに減少。
今後の受注量の指標となる設計折込案件数は増加傾向。

■建築用セメント製品事業

前期の大型案件の反動減、工場建設着工遅れ等により、
売上・利益ともに減少。下期の受注予定案件は豊富。

■その他の事業（ハウジング事業）

金利上昇などの厳しい環境の中、中古市場案件やリフォーム案件の増加にて、売上・利益ともに増加。

連結中間業績推移

決算期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
23/3期中間	7,487	403	410	203	21.1
24/3期中間	8,582	684	695	452	46.9
25/3期中間	10,009	1,203	1,192	815	84.5
26/3期中間	12,818	1,410	1,436	976	100.8
27/3期中間	**9,094**	**897**	**907**	**368**	**38.0**

単位：1株当たり中間純利益は円、その他は百万円

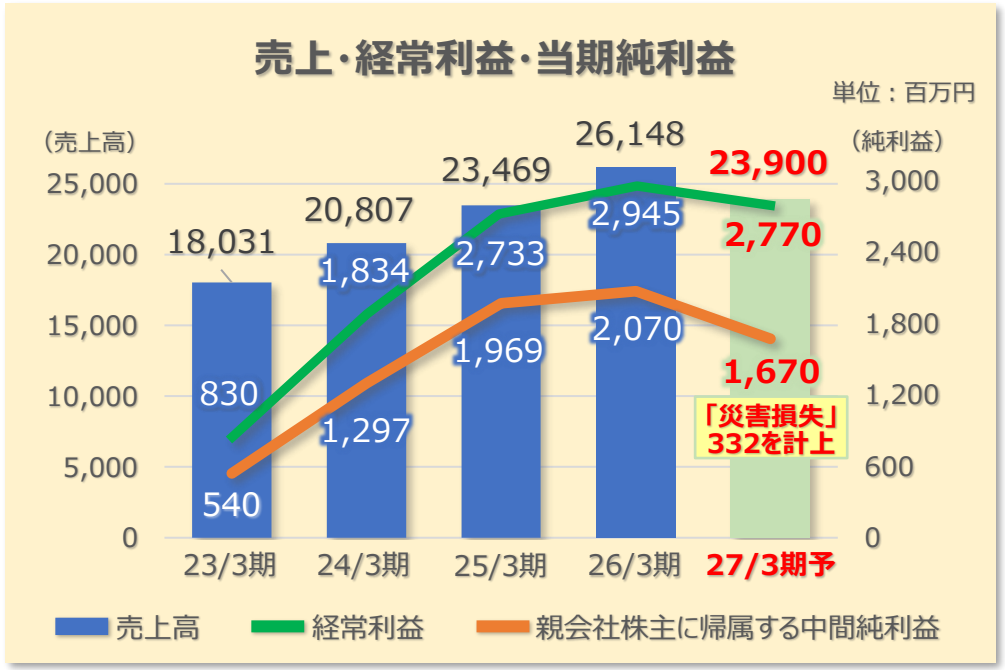


当社グループの27/3期の中間期におきましては、大型案件の反動減や半導体工場の着工遅れなどが重なり、土木用セメント製品事業および建築用セメント製品事業がともに端境期を迎えていることや、令和8年熊本地震の影響もあり、前年同期を下回ることとなりました。 また、当社も令和8年熊本地震の被害を受け、その損害額の全額を「災害による損失」として特別損失に計上いたしました。

連結通期業績推移および予想

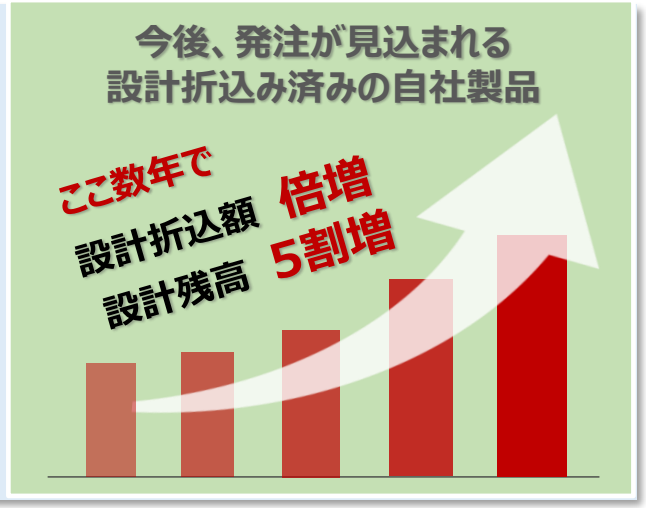
決算期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	ROE
23/3期	18,031	833	830	540	56.2	9.8
24/3期	20,807	1,824	1,834	1,297	134.7	20.3
25/3期	23,469	2,738	2,733	1,969	203.6	25.2
26/3期	26,148	2,918	2,945	2,070	213.7	22.0
27/3期 予	**23,900**	**2,790**	**2,770**	**1,670**	**172.3**	**15.7**

単位：1株当たり当期純利益は円、ROEは%、その他は百万円



通期業績の一時的な落ち込みについて

当社グループの通期業績予想につきましては、大型案件の反動や半導体工場の着工遅れなどにより案件の端境期となることや、令和8年熊本地震の影響等から、減収減益を見込んでおりますが、これらは一時的な要因によるものであります。 一方、プレキャスト工法の普及拡大を背景とした市場の成長に加え、防衛関連需要、半導体関連需要、交通インフラ整備需要、震災関連需要など、当社グループを取り巻く事業環境に大きな変化はなく、適正な価格転嫁の浸透や生産量の平準化による原価低減など、収益力向上に向けた取り組みも着実に進展しております。 また、将来の需要の指標となる設計折込状況および受注状況についても高い水準を維持しております。



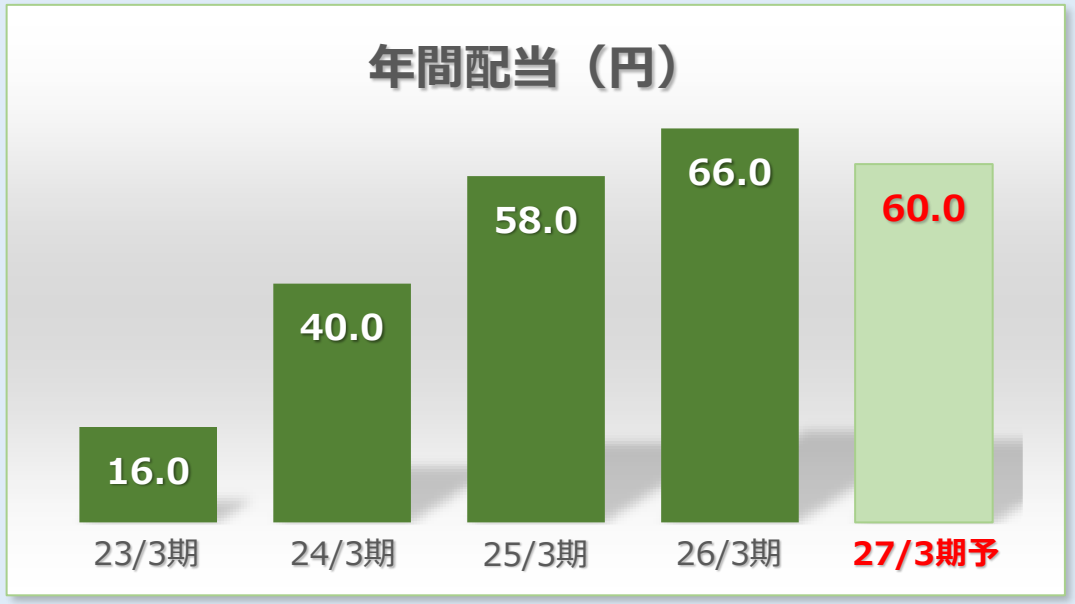
株主還元

配　当

■ 当社は、企業体質の強化と今後の事業展開を図るための内部留保に努めながら、安定かつ継続的な配当を維持することを利益配分の基本方針としております。

■ 配当金額につきましては、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、連結配当性向30%を目安に配当を実施してまいります。

■ 内部留保資金につきましては、激変する社会情勢と予想される経営環境の変化に対応すべく、財務体質と企業競争力の強化に有効活用し、事業の安定的拡大に努めてまいりたいと考えております。



株主優待（工場見学会）

■ 株主の皆さまの日頃のご支援に深く感謝するとともに、建設業界において深刻化する人手不足の解消に貢献できる当社の事業活動につきまして、より一層、株主の皆さまにご理解を深めていただき、また、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有いただけるよう、例年秋に主要工場にて「工場見学会」を開催しております。

第4回 工場見学会（東北ヤマックス一関工場）

2026年9月、グループ会社の東北ヤマックス一関工場（岩手県一関市字沢160番地）にて、4回目となる株主さま向け工場見学会を開催いたしました。

当日は快晴の中、一関工場の概要や製造方法について説明を行ったあと、工場設備や製造方法について工場長からの説明を交え工場内を巡回。コンクリート製品の製造工程や、工場で働く従業員の姿を近くでご覧いただきました。昼食会では、当社の企業紹介動画をご覧いただいたり、ご質問を頂戴するなど、株主の皆さまとの貴重なコミュニケーションの機会となり、非常に有意義な見学会となりました。





会社概要 等

社長メッセージ



代表取締役社長　茂森　拓

私たちヤマックスグループは、創業以来、「技術」と「品質」をもってお客様のニーズに応え、豊かな社会の発展に貢献することを使命と考えてまいりました。

地球規模で人と環境の問題がクローズアップされる今こそ、グローバルな視点から災害や自然への対応を考えなければならない時だと思っております。

これまでも、そしてこれからも「人と環境の最適な調和」を念頭に皆様に信頼される業界のリーディングカンパニーとして、新たな成長を目指して前進してまいりますので、皆様の引き続きの、また倍旧のご支援、ご指導を謹んでお願い申し上げます。

会社概要

- 設　　立　1963年10月10日
- 資 本 金　17億5204万円
- 本　　社　熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号
- 従業員数　537名（2026年9月30日現在）

工　　場

- 長洲工場（熊本県玉名郡）
- 松橋工場（熊本県宇城市）
- 小川工場（熊本県宇城市）
- 人吉工場（熊本県球磨郡）
- 島原工場（長崎県雲仙市）
- 佐世保工場（長崎県佐世保市）
- 瀬高工場（福岡県みやま市）
- 埼玉工場（埼玉県羽生市）
- 一関工場（岩手県一関市）

関連会社

- 株式会社 東北ヤマックス（岩手県一関市字沢160）
- 株式会社 福岡ヤマックス（福岡県福岡市博多区博多駅前1-18-7）
- 株式会社 HOCヤマックス（長崎県佐世保市棚方町221-2）

事業内容

ヤマックスを支える3つの柱

ヤマックスは、「人と環境の最適な調和」をモットーにインフラ整備から住まいづくりまで、常にあなたのそばに存在しています。







土木用セメント製品事業

私たちの社会を支えつづける
土木用コンクリート二次製品

道路の側溝や下水道、トンネルから橋まで。ボックスカルバートを始め、あらゆる土木用のコンクリート二次製品の製造・販売を行っています。
豊かな社会を支える当事業は、近年の自然災害への対応や、自然との調和、循環型社会への転換など、常に時代のニーズに応える製品を生み出し、人々が暮らしやすい生活環境を実現しています。

建築用セメント製品事業

省資源・省力化に貢献する
建築用コンクリート二次製品

ビルやマンションの床・梁・柱・バルコニー・階段や、戸建て住宅の壁・床など、建築用のコンクリート二次製品の製造・販売を行っています。
大都市圏での需要が目覚しい当事業は、建築現場での木製型枠削減による森林資源の保護や、工期短縮による環境負荷低減など、自然にやさしい建築工法を実現しています。

ハウジング事業

一年中快適な「心地いい家」を目指す
戸建木造住宅

四季を肌で感じられるのは素敵なことですが、「あつい」「さむい」が度を過ぎると少々うんざりします。ヤマックスの家づくりはそんな「うんざり」を「心地いい」に変える家づくりをコンセプトに、戸建木造住宅の販売・施工を行っています。都市づくりで培ったノウハウを活かし、世界に一つだけの、家族にやさしい家づくりを目指します。